

令和2年度 宮城県仙台第一高等学校「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる
「○」あてはまる

| 3つの視点 | | | かかわる | もつめる | はたす | かかわる | もつめる | はたす | かかわる | もつめる | はたす | かかわる | もつめる | はたす | かかわる | もつめる | はたす | | | |
|---------|--|---|------|--|--------|--|--|---------|------|--|------|------|---|-----|------|------|-----|---|---|---|
| 各教科指導目標 | 国語 | ◎ | ◎ | ○ | 地理歴史 | ◎ | ◎ | ○ | 公民 | ◎ | ◎ | ○ | 数学 | ◎ | ◎ | ○ | 理科 | ◎ | ◎ | ○ |
| | 文学作品を読むことを通して、さまざまな人間の生き方や考え方を知り、人間としてあるべき生き方や普遍的な価値を探究する力を養う。 | | | わが国の歴史及び世界各国の文化・風土を尊重しながら、異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するような資質を養う。 | | | 複雑な現代社会の仕組みを考察し、先哲の考えを取り入れながら、他者を尊重し主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。 | | | 基礎基本の定着を図るとともに、論理的思考力と表現力を高めることで、社会との関わりを含む様々な事象に対する適切な判断力と問題解決能力を育てる。 | | | 科学的な自然観を総合的に身につけることにより、自然と人間の密接な関わりを探究し、重視する態度を養う。 | | | | | | | |
| 各教科指導目標 | 保健体育 | ◎ | ◎ | ○ | 芸術 | ◎ | ◎ | ○ | 外国語 | ◎ | ◎ | ○ | 家庭 | ◎ | ◎ | ○ | 情報 | ◎ | ◎ | ○ |
| | コミュニケーション能力や課題発見・解決能力を育て(体育実技)、課題設定能力・プレゼンテーション能力・探究能力を育てる(保健)。 | | | 視覚・聴覚を主体とした感性教育と美的情操の育成を通して、思考や判断に基づいた価値判断の能力と、思いや意図をもって適切に表現する力を養う。 | | | 外国語の学習を通じて、外国の文化に対する関心を深めるとともに、コミュニケーション能力を高めることで、国際的な視野に富み社会で活躍できる人間を育てる。 | | | 社会と家庭との関わりについて理解を深め、男女が協力して生活を営む重要性について実践的に学習し、自立した生活を営む力を育てる。 | | | 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。 | | | | | | | |
| 学年共通 | | | | | かかわる | もつめる | はたす | 各学年指導目標 | | | | | | | | | | | | |
| 指導内容 | 自重献身 | ◎ | ◎ | ◎ | 1年 | ○学校生活における様々な場面において、良好な人間関係を構築するための高いコミュニケーション能力を育てる。 ○基礎学力の定着をベースに、高いレベルでの自己実現に向けて、何事にも自発的に取り組み、あきらめない態度を育てる。 ○部活動・学校行事を通じて、社会のリーダーとして必要な道義について自ら考え、主体的に責任を果たそうとする態度を育成する。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 自発能動 | ◎ | ◎ | ◎ | | 2年 | ○中堅学年の役割について自覚を促し、部活動・学校行事において、他人との共生を意識した積極的な参画意欲を喚起する。 ○物事を広い視点で考察する力を育て、社会に対する健全な批判精神と人間としての正しい生き方を求める姿勢を涵養し、主体的に進路目標を設定できる生徒を育成する。 ○自ら主体的に活動する経験を通して、社会における自己の役割についての自覚を促し、リーダーとしての実践力を育成する。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 教科学習 | ○ | ◎ | ○ | 3年 | | ○最上級生としての役割を自覚し、周囲と積極的に関わりながら切磋琢磨することにより自己を成長させる態度を養う。 ○大学進学に必要な学力の定着と向上を図り、将来の進路目標達成に向けて、全力で取り組む姿勢を育てる。 ○学校生活全般で「自発能動」の精神と健全な批判精神を持ち、より一層の内面的成長を図りながら自己の社会的責任と役割を自覚する生徒を育成する。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 学校行事・生徒会・部活動 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指導内容 | | | | | ねらい | | | 指導教科等 | 実施時期 | 時数 | かかわる | もつめる | はたす | | | | | | | |
| 1年 | 合同巡検 | 集団行動を体験させることにより、集団生活のルールや公衆道徳、及び対人関係の在り方などを学ばせるとともに、宿泊体験などを通して、生徒と教師のコミュニケーションを深める。 | | | 特別活動 | 7月 | 9 | ◎ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| | OB講演会 | 難関大学・難関学部で学ぶことの意義を理解し、自らの在り方や生き方について考える。 | | | 特別活動 | 9月 | 2 | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| | 社会人講話等 | 働くことの意義を理解し、自らの在り方や生き方について考える。 | | | 特別活動 | 1月 | 3 | ◎ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| | 学術研究Ⅰ | 問題に対して自ら計画を立て、見直しを持って実行し、問題を解決していく力を養う。 | | | 学校設定科目 | 通年 | | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| 2年 | 校外研修 | 東京の研究機関や企業・官公庁を訪問し、最先端の科学技術、実際の政治・経済、貴重な歴史・文化遺産に触れ、視野を広げる。 | | | 特別活動 | 7月 | 9 | ◎ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| | OB講演会 | 現役大学生の講演を聞いて、自己の学びの目標をより高く掲げる意識を養う。 | | | 特別活動 | 9月 | 2 | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| | 難関大学・学部学科研究 | 東北大学教授の講演を通して、研究分野の社会的意義を理解し、主体的な進路選択を促す。 | | | その他 | 11・12月 | 2 | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| | 主権者教育 | 高校生が選挙権を持つ意義および選挙活動と具体的な選挙違反について理解を深めることによって、主権者としての意識を高め、社会に有為な市民として必要な資質を養う。 | | | 特別活動 | 3月 | 2 | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| 学術研究Ⅱ | 課題研究に取り組むことにより、研究方法を学ぶとともに、問題に対して自ら計画を立て、見直しを持って計画を進め、問題を解決していく力を養う。 | | | 学校設定科目 | 通年 | | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 難関大学・入試研究 | 予備校関係者の講演等を通じて、進路目標の具体化を図る。 | | | 特別活動 | 7・11月 | 2 | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| | 卒業式記念講演 | 社会のリーダーとして活躍するOBの講演を聴き各自が志を確認することにより、3年間の志教育のまとめとする。 | | | 特別活動 | 3月 | 4 | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| | 学術研究Ⅲ | 多角的、複合的に事象を捉え、自然や社会などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 | | | 学校設定科目 | 通年 | | ◎ | ◎ | ◎ | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 合計時数 | 35 | | | | | | | | | |